

平成 20 年 5 月 26 日
健康福祉事業本部
福祉部高齢社会対策課

高齢者保健福祉懇談会委員意見

(検討課題 (テーマ)「健康の保持・増進」について)

※第 2 回懇談会までに出た委員意見

1 中高年健康診断の多様化

① 骨粗しょう症予防事業の充実 (拡大)

骨粗しょう症により骨折すると、その後にリハビリしても、以前のように回復するまでには大変な努力を要する。

予防としての骨密度診断は既に健康診断でも実施していると思うが、さらに充実を図れないか。

② 健康・体力づくり相談案内充実・周知の工夫

健康診断を受けた方へ、医師から体力作りについての相談や指導が受けられるような事業ができないか。

2 高齢者の健康・体力の保持、増進支援

① 元気高齢者の健康・体力の保持、増進の支援

全国シルバー人材事業協会の調査によると、働いている高齢者の方が、医療費が少なく済んでいるとのことだ。理由として、就労を通じた社会参加が心身の健康維持に寄与していると思われる。

元気を維持するためには、まず自助努力が求められるのだろうが、元気な高齢者が多い状態は社会にとっても望ましいことだろう。区としても、何らかの支援をすべきである。